

寂光院「縁起絵巻」10日公開

近郊版



高山に咲く
山田 洋子
二紀会所属

ニュース、情報は下記へ
社 会 部
052-231-1650・5919
Eメール
shakai@chunichi.co.jp

春日井支局 〒486-0844
春日井市鳥居松町3-60
0568-81-2036 Fax81-2797

犬山通信局
0568-61-2612 Fax61-2613

小牧通信局
0568-72-1177 Fax72-6530

瀬戸支局
0561-82-3121 Fax82-5316

一宮総局
0586-72-4545 Fax72-5035

江南通信部
0587-54-4001 Fax54-9622

中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052-221-0800 Fax221-0819
Eメール
center@chunichi.co.jp

掲載写真を購入希望の方は
最寄りの中日新聞販売店へ

開山伝説 江戸後期に描く

尾張のもみじ寺として知られる犬山市継^つ尾^のの寂光院。その開山までの伝説を描いた「継尾山縁起絵巻」が修復され、十日に初公開される。松平実胤^{じゆん}山主は「皆さんのおかげで修復でき、今後五十年、百年と伝承できる。多くの方に見ていただきたい」と話している。

(金森篤史)

犬山 発見、修復後初めて

寂光院は六五四(白)でできなかった。雉(五)年に開かれたとされる。その成り立ちから一〇年にかけて実^じ、約二百万円をかけた後期に描かれ、寺内成の大修理の際、修^{しゆ}の寄付で賄った。にあるといわれていた理の対象となった。破二・七二尺、横一・八が、実物は長らく確認 堂内で見つかった。



修復された絵巻と松平山主＝犬山市の寂光院で

二尺。十八枚の絵で構成され、寂光院の由来を紹介している。日本武尊の魂が千手観音と成り継尾の地に姿を現したことで、靈驗あらたかな地として多くの人が参拝し、千手観音を本尊とする寂光院の開山につながったというのが伝承のあらまし。

松平山主は「絵巻が見つかって修復でき、私自身、観音様への愛着が募った。今後観音様の功德、御利益を広くお伝えしていきたい」と話した。

十日は午前十一時から公開。松平山主の話に続き、扶桑町出身で、仏教文化に詳しい長野市の長谷寺の岡沢恭子さんがプロジェクターなどを使って絵巻の内容を詳しく解説する。

約一時間半で、聴講料は五百円。予約などは不要。